

最優秀政策提言賞

鈴木宏美・東京都新宿区議 (31)



「若手女性に安心して議会で活躍してもらいたい一心だった」とマニフェスト大賞への応募の動機を語る。2011年の初当選後に結婚。昨年6月、妊娠が分かった。新宿区議会は議会運営委員会の理事会決定とい

う簡単な手続きで産休・育休を認めてくれた。条例制定などの手間をかけず、区職員の規則を援用して同一の処遇とする対応は「他の自治体議会でも共有できるはず」と提言した。「全国の女性議員はもちろん、企業の女性社員にも、新宿区議会でできたならうちでも、と主張する根拠にしてもらえたら」との願いを込めた。

「給料泥棒」「これだから女性議員は」。妊娠したとたん、議会内外から非難され次回の出馬をやめた女性議員を知っている。鈴木さんも「議会を休んだら議員の義務を果たせない」と批判された。逆に独身でも東京都議会のように「産めないのか」とヤジが飛ぶ。そんな現実に憤りつつも今回、女性の活躍のため応募した提言が受賞したことに、時代の変化を感じている。今年1月に無事、長女を出産。激務のためか妊娠前より7キロやせたが、「仕事や出産を諦めざるを得ない女性を少しでも減らすよう、これからも頑張りたい」。【大迫麻記子】

出産後も活躍後押し